新潟大学理学部・令和３年度

入試制度変更の要点

新潟大学入試制度改革の一環として、理学部では前期日程と学校推薦型選抜の制度を変更し、新たに総合型選抜を実施します。

＜変更の要点＞

1. 前期日程の試験教科・科目と概ねの募集人員の変更について

個別学力検査の 数学 について、従来の「選抜方法 A」では必須、「選抜方法 B」では選択とし、またその配点が異なっていました。

今回、この２つの選抜方法を改め、「理数重点選抜」と「理科重点選抜」とし、前者は数学を必須とし、後者は数学を選択肢から除外しました。

これによって、受験教科・科目による選抜方法の選択がより簡明になりました。
なお、新たな概ねの募集人員は、過去の数学での受験者数の比率を考慮しています。

2. 学校推薦型選抜の試験教科・科目の変更について

従来は、化学、生物学、地質科学、自然環境科学の各プログラムでは、小論文を課していました。

今回、これらのプログラムでは、小論文に替えて、大学入学共通テストを新たに課すことにしました。

これによって、大学入学共通テストと一般選抜（前期日程，後期日程）の受験を予定している受験者にとって特別な準備が不要となり、受験がより容易になると期待されます（特に、化学、生物学の各プログラムでは面接も課しません）。

3. 総合型選抜の導入について

理学部は、探究心旺盛で優れた主体性をもつ学生を求めています。

一方、多くの高校の正課外で、SSH などの優れた探究活動がなされており、探究心と主体性の育成が促進されていると期待されます。

本選抜では、探究活動の成果に関する「プレゼンテーション及び口頭試問」によって探究心と主体性を、大学入学共通テストによって基礎学力をそれぞれ測ります。

「プレゼンテーション及び口頭試問」は、SSH などの成果報告会での発表の再現が求められ、特別な準備は必要ありません。

大学入学共通テストと一般選抜（前期日程，後期日程）の受験を予定する受験者も積極的にチャレンジされることを期待しています。